

デュアルチューブ式硫黄分析装置 高温燃焼硫黄分析計

商品番号: KT-TE11



前書き

石炭、冶金、鉱物サンプルの精密な高温燃焼分析のために設計されたこのデュアルチューブ式硫黄分析装置で、ラボのスループットを最適化します。厳格な標準分析プロトコルに準拠し、2検体同時測定機能と、過酷な産業試験環境でも信頼性の高い熱性能を備えています。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
石炭・コークスの品質保証	標準燃焼プロトコルに基づく、一般炭、冶金用コークス炭、石油コークス中の全硫黄含有量の定量。	ボイラーの腐食防止、環境規制への適合、燃焼効率の最適化。
高炉・製鉄冶金	銑鉄、スクラップ鋼、フェロアロイ、冶金用フラックス中の硫黄不純物の測定。	構造用合金の硫黄誘発脆化の制御、铸造前の溶湯化学組成の検証。
地質・鉱山鉱石分析	鉱物探査コアおよび鉱山尾鉱中の硫化鉱物、黄鉄鉱、硫酸塩成分の迅速評価。	鉱石の等級付けの加速、浮選回収ワークフローへの情報提供、酸性鉱山排水予測の支援。
セメント・建築材料試験	セメントキルンで使用されるクリンカー、原石膏、石灰石、代替燃料中の全硫黄分析。	ロータリーキルン内のリング形成防止、最終的な構造用結合材の国際機械規格適合の保証。
環境・灰残渣検証	ボトムアッシュ、フライアッシュ、工業用排ガスクラビングスラッジ中の残留硫黄含有量の精密追跡。	脱硫性能の検証、廃棄物副産物の埋め立て再利用の安全性確認。

石油化学触媒・スラグ分析	使用済み触媒、精製固体残渣、合成炭素添加剤中の結合硫黄種の検出。	触媒再生サイクルの最適化、下流の化学処理システムを被毒から保護。
--------------	----------------------------------	----------------------------------

仕様パラメータ	技術詳細 / 値
製品番号	KT-TE11
分析規格適合	GB/T 214-2007（高温燃焼中和法）
炉運転温度	連続運転：1200°C、短時間最大：1500°Cまで
恒温ゾーン長	80 mm
恒温ゾーン内の温度勾配	$\Delta T < 10^{\circ}\text{C}$
昇温速度	20°C～25°C / 分（60分以内に1200°Cに到達）
発熱体の種類と形状	二重ねじ炭化ケイ素管（Φ70/60 × 250/100/30 mm）
反応燃焼管の材質と寸法	高純度コランダム段付き/還元管（Φ22/18 × 760 mm / Φ10/Φ6 mm）
サンプル処理能力	デュアルチューブ構成（2検体同時測定）
温度コントローラーアーキテクチャ	サイリスタ（SCR）比例コントローラー

仕様パラメータ	技術詳細 / 値
コントローラー測定・制御範囲	0°C~1600°C
ガス回路アセンブリ	統合ガス浄化、酸素流量計、吸収システム
定量検出メカニズム	燃焼酸化によるSO ₂ 生成、H ₂ O ₂ によるH ₂ SO ₄ への酸化、標準NaOH滴定
定格電力	約4.0 kW
電源要件	AC 220V ± 10%, 50 Hz